

# 洞薬会 1 月度学術講演会のご案内

謹啓 時下、先生方におかれまして益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。  
さてこの度、下記の要領にて洞薬会学術講演会を開催いたします。  
万障お繰り合わせのうえ、ご出席賜りますようお願い申し上げます。

謹白

記

日 時：2017年1月19日（木） 18：45～20：30  
場 所：ステーションホテル小倉 4階 豊饒の間  
福岡県北九州市小倉北区浅野1丁目1番1号 TEL 093-541-7111

司 会 JCHO 九州病院 薬剤部 川久保 充章 先生

製品解説 （18：45～19：00）

『 インフリキシマブBS「NK」について 』

日本化薬（株） 福岡学術推進担当 島崎 和彦 先生

特別講演 （19：00～20：30）

座 長 産業医科大学若松病院 薬剤部長 日高 博司 先生

『 炎症性腸疾患の病態と治療変遷 』

戸畑共立病院 消化器内科  
酒見 亮介 先生

## 【講演要旨】

潰瘍性大腸炎、クローン病に大別される炎症性腸疾患は消化管に原因不明の炎症を起こし、腸管内、腸管外に複雑な病態を呈することで様々な全身症状を引き起こす慢性疾患である。近年、我が国の炎症性腸疾患患者数は急激に増加しており、潰瘍性大腸炎患者数は18万人、クローン病患者数は4万人を超え、日本はIBD 大国となりつつある。IBD 患者数が増え続けると共に多くの治療法が開発され、免疫調節薬や生物学的製剤が出現したことによって、これまでメサラジン製剤、ステロイドを中心とした治療からステロイドに依存しない治療が行われている。また、炎症性腸疾患の治療目標は症状の消失のみならず粘膜治癒を目指した高い治療目標が掲げられている。炎症性腸疾患の治療および治療目標の変遷を鑑みながら、現在の炎症性腸疾患の最適な治療について考えてみる。

共催 洞薬会（北九州地区勤務薬剤師会）福岡県病院薬剤師会 日本化薬株式会社

※日病薬病院薬学認定薬剤師制度研修（V-2）1単位（予定）

※日本薬剤師会研修センター研修1単位

※非会員の方は参加費500円を徴収させていただきます。（学生、研修生は除く）